

会津戊辰 150 周年 PR プロジェクト

A2201603 飯 琴乃 A2201609 河原木 美裕

研究の背景

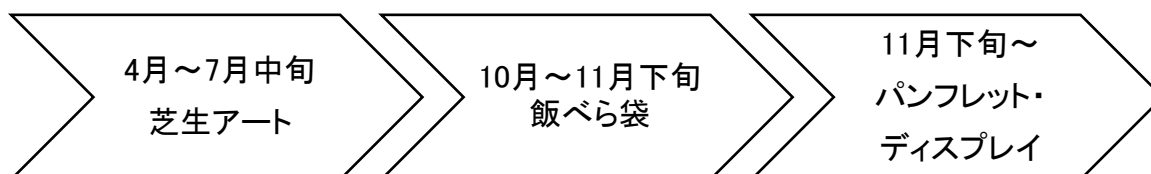
平成 30 年は会津戊辰戦争終結から 150 周年を迎える節目の年で、会津若松市内では各地でこれに向けてさまざまな取り組みを計画している。

私たちは、会津若松観光ビューロー様と会津若松ワシントンホテル様と連携を取りながら、会津戊辰 150 周年を周知するグラフィックツールを制作することにした。

研究の目的

会津戊辰戦争は、現在私たちが住んでいる地にとっても関係が深いものである。戊辰 150 周年記念事業をグラフィックツールを用いて、地元、または観光客の方に知ってもらいたい。

研究のプロセス



毎年2月に会津絵ろうそくまつりの地上絵をデザインしている高橋ゼミに対して会津若松観光ビューロー様から新たに依頼があり、協議の結果、芝生アートを実施することになった。鶴ヶ城は国の文化財「史跡」に指定されているため、芝生を傷つけてはいけないという制限などがあった。実施するにあたって、芝生を傷つけない素材を探したり、会津や鶴ヶ城の歴史について勉強した。プロジェクトの下準備が終わり、3つのデザイン案を出し、会津若松観光ビューローの方と共に話し合った。芝生アートに使う素材は農業用防虫シートに決め、デザインは白虎隊士に決まった。その後、実際に鶴ヶ城に行き会津若松観光ビューローの方と共に制作した。

続けて元旦登閣用の飯べら袋のデザインも依頼された。まずは飯べらがどんなものなのかを観光ビューローの方に説明してもらった。さらに自分たちでも調べて、飯べらに込められた願いに沿ったデザインを考えた。デザイン案を3案制作し、観光ビューローの方にプレゼンして1つのデザインに決定した。

また、パンフレットを制作しようと考えていたところ、会津若松ワシントンホテル様から会津戊辰 150 周年を PR するディスプレイをしてほしいとの依頼があった。そこで、パンフレットに加えてディスプレイもすることにした。パンフレットを制作するにあたって、会津戊辰の歴史やゆかりの地について、デザイン情報コースの学生と教授計 61 名を対象にアンケート調査を行った。結果より、興味を持ってもらうための導入口を作らなければいけないと考えた。これを踏まえ、会津戊辰に関係のある土地をめぐるパンフレットを制作することにした。ワシントンホテルの担当の方に意見を聞きに行ったり、歴史や土地をめぐる時に使う交通手段などを調査した。また、実際にルートや見学先を取材した。それをもとにパンフレットを制作した。ディスプレイはパンフレットの内容をもとにすることにした。

成果物(完成作品)



○鶴ヶ城本丸芝アート

戊辰戦争と鶴ヶ城から連想されるもの。
会津戊辰戦争は悲しい戦争であったが、このことを
忘れずにこれからの世代に伝えていきたいという
思いを込めた。

○飯べら袋

繁殖力が強いことから子孫繁栄や無病息災の願い
を託すこともある水辺植物のヒシにちなんだ菱模様が
ベース。鶴ヶ城の鶴もデザインし、会津木綿をイ
メージしたしま模様も取り入れた。



○パンフレット

会津戊辰戦争に関係のある土地に実際に訪れてもらい、歴史に触れてもらうためのパンフレット。会津に初め
て来た人にわかりやすく伝えるようにデザインにした。白虎隊コース・新選組コース・会津武家屋敷コースの 3
つのコースに分けて紹介した。

考察

本研究では会津戊辰戦争について取材・調査を行い、多くの人が会津戊辰戦争を悲観的に捉えすぎているの
ではないかと感じた。また、2018年が会津戊辰 150周年であるという認知度が低いと感じた。

今回の私たちの成果物が各種メディアに採り上げられたことによって、少しでも前向きに捉えられたのではな
いだろうか。また、会津戊辰 150周年の認知度が上がったのではないだろうか。